

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月24日(2024.9.24)

【公開番号】特開2024-87693(P2024-87693A)

【公開日】令和6年7月1日(2024.7.1)

【年通号数】公開公報(特許)2024-121

【出願番号】特願2022-202636(P2022-202636)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月12日(2024.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立に基づいて図柄変動遊技を行い、該図柄変動遊技の結果に基づいて当り状態に遷移可能な遊技機において、

遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

30

所定の表示が行われる表示手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であり、

前記図柄変動遊技が行われていない遊技待機状態にて何らの演出を伴うことなく前記所定値を増加させることができ特定増加手段を有し、

さらに、前記図柄変動遊技が行われていない前記遊技待機状態において、特定条件が成立することで特定画像が表示される特定状態に遷移されうるが、該特定画像が表示される該特定状態は遷移されることがないように管理者操作によって設定可能に構成される

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

所定条件の成立に基づいて図柄変動遊技を行い、該図柄変動遊技の結果に基づいて当り状態に遷移可能な遊技機において、

遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定

50

値に達したか否かを判定する判定手段と、  
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、  
所定の表示が行われる表示手段と、  
を備え、

前記遊技制御手段は、前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であり、

前記図柄変動遊技が行われていない遊技待機状態にて何らの演出を伴うことなく前記所定値を増加させることができ特定増加手段を有し、

さらに、前記図柄変動遊技が行われていない前記遊技待機状態において、特定条件が成立することで特定画像が表示される特定状態に遷移されうるが、該特定画像が表示される該特定状態は遷移されることがないように管理者操作によって設定可能に構成される

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50